

〔セクションⅡ〕 授業カレベルアップ

主体的・対話的で深い学び

1 「主体的・対話的で深い学び」の授業改善の視点について

授業づくりの基本「5つの視点」

[視点1] 育成を目指す資質・能力の明確化

[視点2] 内容や時間のまとまりを見通した単元（題材）のデザイン

[視点3] 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を支える手立て

[視点4] 全ての児童が安心して学ぶことができる環境づくり

[視点5] 特別な配慮を必要とする児童への指導内容や指導方法の工夫

- ・ **主体的**に学習に取り組めるよう、**自身の学びや変容を自覚できる場面**を設定する。
- ・ **対話**によって**自分の考えなどを広げたり深めたりする場面**を設定する。
- ・ **学びの深まり**を作りだすために**児童が考える場面と教師が教える場面**を組み立てる。

2 主体的な学び

○ 主体的に学習に取り組めるよう、自身の学びや変容を自覚する

＜学習者の視点＞

- ・ 学ぶことに興味や関心を持つ
- ・ 自己のキャリア形成の方向性と関連付ける
- ・ 見通しを持つ
- ・ 粘り強く取り組む
- ・ 自己の学習活動を振り返って次につなげる

＜授業者の視点＞

- ・ 既習事項を振り返る
- ・ 具体物を提示して引き付ける
- ・ 子供が明らかにしたくなる学習課題を設定する
- ・ 子供が自らめあてをつかむようにする
- ・ 学習課題を解決する方向性について見通しを持てるようにする
- ・ 子供が自分の考えを持つようにする
- ・ 子供の思考を見守る
- ・ 子供の考えを生かしてまとめる
- ・ 思考を交流する場面を作る
- ・ 交流を通じて思考を広げる
- ・ 協働して問題解決する
- ・ その日の学びを振り返る
- ・ 新たな学びに目を向けるようにする

3 対話的な学び

○ 対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする

<学習者の視点>

- ・ 子供同士の協働を通じ、自己の考えを広げ深める
- ・ 教職員との対話を通じ、自己の考えを広げ深める
- ・ 地域の人との対話を通じ、自己の考えを広げ深める
- ・ 先哲の考え方を手掛かりに考える

<授業者の視点>

- ・ 思考を交流する場面を作る
- ・ 交流を通じて思考を広げる
- ・ 協働して問題解決する
- ・ 板書や発問で教師が子供の学びを引き出す

「主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善の視点について」 国立教育政策研究所（令和2年6月）

4 深い学び

- 学びの深まりを作りだすために、児童が考える場面と教師が教える場面を設定する

＜学習者の視点＞

- ・ 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせる
- ・ 知識を相互に関連付けてより深く理解する
- ・ 情報を精査して考えを形成する
- ・ 問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

＜授業者の視点＞

- ・ 資質・能力を焦点化する（付けたい力を明確にする）
- ・ 単元や各授業の目標を把握する
- ・ ねらいを達成した子供の姿を具体化する
- ・ 教材の価値を把握する
- ・ 単元及び各時間の計画を立てる
- ・ 目標の達成状況を評価する

中学部 保健体育科「ダンス」の例 ～単元の目標と評価規準～

単元の目標		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ダンスの行い方が分かり、ステップや振り付けを身に付ける。	ステップや振り付けの得意・不得意に気付き、ダンスの内容を考えたり工夫したりしたことを友達に伝える。	ダンスに進んで取り組み、友達の発表後に、次のダンスにつながる感想を伝える。



単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- ダンスの行い方が分かっている。 - ステップや振り付けを身に付けている。	- ステップや振り付けの得意・不得意に気付き、ダンスの内容を考えたり工夫したりしている。 - 考えたり、工夫したりしたことを友達に伝えている。	ダンスに進んで取り組み、友達の発表後に、次のダンスにつながる感想を伝えようとしている。


 単元を終えた時に、生徒はどのような力を身に付けたか？

中学部 保健体育科 「ダンス」の単元の指導計画の例

時	主な学習活動	目 標	評価の観点		
			知	思	主
1	脚のステップや腕の振り付けの練習	脚のステップや腕の振り付けが分かり、踊ることができる。	○		
2	踊る曲、ステップや振り付けの選択、決定	踊る振り付けの選択や決定で、考えを持ち、意見を言う。		○	
3	振り付けの練習①	振り付けの出来映えや変更点などについて考えを持ち、意見を言う。			
4	振り付けの練習②				
5	振り付けの確認	脚のステップや腕の振り付けを決めたとおりに踊ることができる。	○		
6	コンテスト①	発表を見て、感想を言う。			○
7	振り付けの変更、改善	コンテストを振り返り、振り付けの変更、改善に考えを持ち、意見を言う。		○	
8	振り付けの練習③	脚のステップや腕の振り付けを決めたとおりに踊ることができる。	○		
9	振り付けの練習④		○		
10	コンテスト②	発表を見て、感想を言う。			○

中学部 保健体育科 「ダンス」の単元の指導計画の例

時	主な学習活動
1	脚のステップや腕の振り付けの練習
2	踊る曲、ステップや振り付けの選択、決定
3	振り付けの練習①
4	振り付けの練習②
5	振り付けの確認
6	コンテスト①
7	振り付けの変更、改善
8	振り付けの練習③
9	振り付けの練習④
10	コンテスト②

コンテスト①に向けて、
振り付けを選ぼう！
決めた振り付けを練習
しよう！



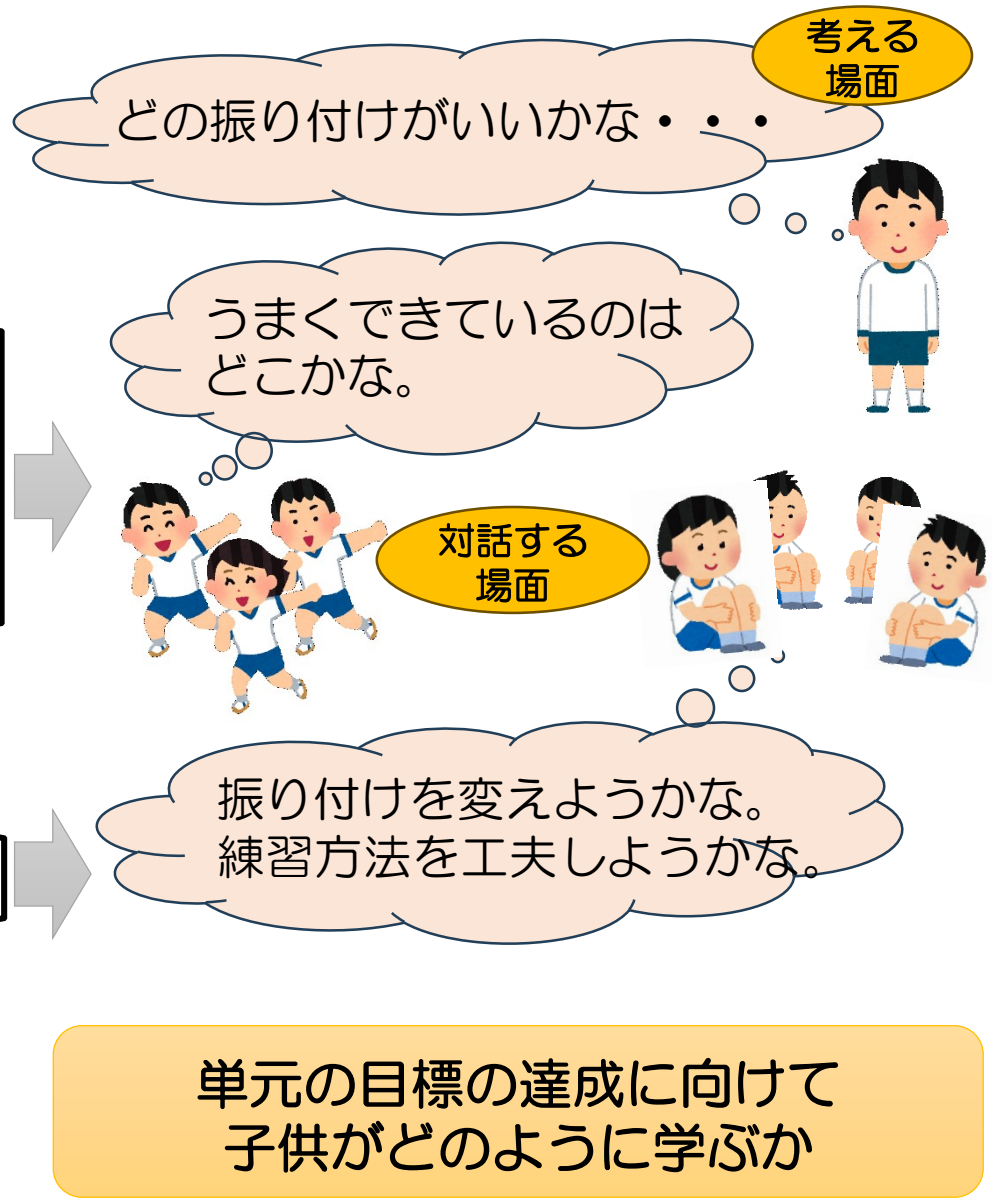
学習の
目的

活動の
見通し

主体的な学び

中学部 保健体育科 「ダンス」の単元の指導計画の例

時	主な学習活動
1	脚のステップや腕の振り付けの練習
2	踊る曲、ステップや振り付けの選択、決定
3	振り付けの練習①
4	振り付けの練習②
5	振り付けの確認
6	コンテスト①
7	振り付けの変更、改善
8	振り付けの練習③
9	振り付けの練習④
10	コンテスト②



演習

単元の指導計画を基に、「主体的な学び」や「対話的な学び」、「深い学び」の視点から考えられる工夫を考えてみましょう！

- 単元を見通して、主体的に学んでほしいと考える授業や子供の姿にはどのようなものがあるか。
- そのために、単元や授業において、どのような工夫が考えられるか。
- 主体的な学びや対話的な学びの視点から考えた工夫は、単元の目標（又は授業の目標）の達成に向けたものとなっているか。